

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第62号

2008年7月

# やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課

編集 かながわ森林インストラクターの会

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2

☎0465-85-1900

URL: [http://www.ny.airnet.ne.jp/k\\_sinrin](http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin)

## 定例観察会のお知らせ

毎週土曜・日曜および祝日に「かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。午後1時までで、やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月下旬・1月・2月)は安全確保のため休止します。

## 梅雨明け間近の水源林

今年は、梅雨入りが例年より早く、6月の雨量も多かったようです。7月初旬に水源林を訪れた時、梅雨の雨を集めた寄沢は、水量豊かに勢いよく流れていました。その中で、水生・土壌班による水生生物、土壌生物の調査が行われました。今回の調査では今まで見ることが出来なかった、ヤマメを発見するなどの成果が得られました。



水生生物調査は、寄沢を含む4箇所で行いました。



水質調査

pH, COD, NO3 のパケットテストを継続的に行っています。

この時期、花の種類は少ないですが、ホタルブクロ、ムラサキシキブ、マタタビなど特徴のある花が咲いています。



ホタルブクロ

一本だけ茎を伸ばして、数輪の花をうつむき加減に咲かせている姿は、なかなか風情があります。



ムラサキシキブ

葉の付け根に淡い紫色の花が多数咲いています。秋には紫色の丸い美しい実をつけます。



マタタビの花

マタタビ

開花時に上部の葉の上半分または全部が白くなり、よく目立ちます。ネコ科の動物はマタタビのにおいに恍惚を感じ、強い反応を示すため「ネコにマタタビ」という言葉が生まれました。

## モモンガとムササビの巣箱を設置しました

やどりき水源林では「成長の森」事業が進められています。今年で2期目ですが、今回の区域に、ホンドモモンガとムササビの生息が確認されました。そこでかながわ森林インストラクターの会では、県森林課に保護対策を申し入れ、伐採予定エリアの変更、巣穴がある木や周辺の木を残すという思いやりのある回答を得ることができました。また一時避難所としての巣箱を設けることが決定しました。6月29日、会員によって8個の巣箱をエリア周辺の木に設置しました。



完成したムササビ用巣箱、屋根が蝶番で開く



ムササビ用 (穴φ8)  
24(W)×40(H)×24(D)  
モモンガ用 (穴φ4.5)  
18(W)×25(H)×18(D)

単位：cm

巣箱の組み立ては、集会棟横のひさしの下で雨を避けながら行いました。排水用の穴として、底板の各コーナーに切欠きを入れ、屋根は観察できるように蝶番で止めてあります。完成後直ちに設置場所に向かいましたが、当日はかなりの降雨のため、寄沢は増水しており、沢を渡るのにも緊張しました。

現場に到着後2班に別れ、枝打ち用の梯子を組み立て設置作業に取り掛かりました。特にムササビ用の巣箱は大きく重たいので、作業も大変です。シュロ縄でしっかり固定しました。作業開始後2時間ほどで、ムササビ用、モモンガ用各4個、計8個の巣箱の設置を完了しました。



### ホンドモモンガ

当地に生息しているホンドモモンガは、県の絶滅危惧種に指定されています。丹沢山地に生息していますが、個体数は少ないようです。ムササビ同様に木から木へと滑空しますが、体重はムササビの1/10ほどで、成獣でも180g程度です。

### 7月のトピックス

- オオルリやホトトギスなどの夏鳥やウグイス、ミソサザイなどの合唱が響き渡っています。
- 水生生物の調査でヤマメを捕獲することが出来ました。なお、調査後沢に放流しました。



ヤマメ(体長約11cm)

### 8月の水源林

- 「20年度成長の森」区域の伐採作業が行われます。材はケーブルクレーンを使って林道まで搬出します。モモンガ、ムササビは新居に引っ越してくれるのでしょうか。
- タマアジサイの花が見頃となります。